

平成26年 2月 24日

各 位

会 社 名	東 福 製 粉 株 式 会 社
代 表 者 名	取 締 役 社 長 野 上 英 一
(コード番号	2006 東証2部 福証)
問 合 せ 先	執行役員総務部長 中路 節
電 話	0 9 2 - 7 8 1 - 1 6 6 1

業績予想の修正及び子会社による孫会社の吸収合併による 特別利益並びに繰延税金資産の計上について

平成25年12月5日付「連結子会社による孫会社の吸収合併に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、平成26年2月1日をもって当社100%出資の連結子会社である株式会社大江商店が、同社100%子会社である興英商事有限会社を吸収合併いたしました。

この合併の会計処理において、企業結合会計基準が適用され、当社の個別決算において特別利益を、また連結決算において繰延税金資産を計上することになりますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別利益の内容

本件合併に伴い、被合併会社である興英商事有限会社に対する当社の売掛金及び未収金の貸倒引当金として当社単体で計上している56百万円について、本件合併後の売掛先及び未収先となる合併会社である株式会社大江商店の収益力から全額を回収見込み額として、貸倒引当金戻入額(特別利益)56百万円を平成26年9月期第2四半期個別決算において計上する見込みです。

2. 繰延税金資産計上の内容

本件合併に伴い、合併会社株式会社大江商店が被合併会社興英商事有限会社の繰越欠損金を引き継ぐことにより平成26年9月期第2四半期連結決算において税効果会計に係る繰延税金資産を計上することに伴い、法人税等調整額が9百万円計上される見込みです。

3. 平成26年9月期通期業績への影響

合併会社株式会社大江商店は、被合併会社興英商事有限会社を吸収合併したことに伴い、合併効力発生日(平成26年2月1日)における被合併会社の純資産と、合併会社が所有する被合併会社株式の帳簿価額との差異を抱合せ株式消滅差損(56百万円)として計上いたしますが、連結上は当社は、同額の貸倒引当金を計上しておりましたので、連結業績に与える影響は軽微です。

また、個別決算に与える影響につきましては貸倒引当金戻入額(特別利益)が56百万円増加となります。

4. 業績予想の修正について

上記個別決算に与える影響を踏まえ、平成25年11月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成26年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,500	10	3	0.30
今回修正予想(B)	3,500	10	59	5.90
増減額(B-A)	0	0	56	—
増減率(%)	0.0	0.0	1866.7	—
【ご参考】前期実績 (平成25年9月期)	3,188	19	10	1.09

平成26年9月期第2四半期個別業績予想数値の修正(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,850	29	16	1.60
今回修正予想(B)	1,850	29	72	7.20
増減額(B-A)	0	0	56	—
増減率(%)	0.0	0.0	350.0	—
【ご参考】前期第2四半期実績 (平成25年9月期第2四半期)	1,665	18	6	0.65